

平成 17 ( 2005 ) 年度

第 2 回知床エコツアーリズム推進協議会

議事概要



## 第2回知床エコツアーリズム推進協議会 議事概要

平成 18 年（2006 年）2 月 28 日 13：30～15：30 於：斜里町産業会館ホール

出席者：別紙出席者名簿を参照

平成 17 年度 第 2 回知床エコツアーリズム推進協議会開会

### 【1】挨拶

### 【2】出席者紹介

### 【3】議事

- 1) 平成 17 年度事業報告について
- 2) 知床エコツアーリズムガイドライン(案)について
- 3) 英文ホームページについて
- 4) 平成 18 年度事業計画(案)について
- 5) その他、次回予定など

### 【1】挨拶

会長： エコツアーリズムということで、観光と自然保護を一緒に語るという、非常に大きな課題に取り組んできている。環境省のオリエンテーションなどに参加し、他地域の報告などを聞くと、知床は比較的前に進んでいるかと思う。ただ、事業項目は多岐にわたり、事務局の負担も大きくなっており、少ない人員で何とかやりきっている状態だ。皆様のご支援ご協力をお願いしたい。

今日は年度末の事業報告と 18 年度の事業計画案と共に、現在の大きな課題であるガイドラインについてもご審議いただきたい。自然保護の観点から現実的な要請もあり、早急に作成する必要もある。また将来的にはガイドの認証制度などの構想にもつながり、今後のエコツアーを進める上でも非常に重要な要件を構成すると思われる。皆様のご協力をおねがいしたい。

### 【2】出席者紹介

自己紹介（別紙出席者名簿参照）

### 【3】議事

進行： 会長

1) 平成 17 年度事業報告について

事務局(知床財団)：資料 1~6 ページ参照

環境省事業、斜里町・羅臼町事業について、資料の内容で事業を実施した。  
第一回推進協議会で問題となった春季滞在型モデルツアーでの、日本旅行パンフレットの問題表記については、6 月に日本旅行および、知床財団より謝罪があり、決着している。

事務局(北海道)：資料 7~8 ページ参照

北海道事業について、資料の内容で事業を実施した。

会長： エコツアーのモデルを作るのには苦労している。オーバーユースを避ける新しい提案となるモデルツアーを模索しているが、報告のような問題もあった。来年度以降は、この経験を活かして、さらに成果をあげていきたいので、ご理解ご協力をお願いしたい。  
質問があればお願いします。

林野庁： 実施主体はどこか。斜里町、羅臼町など発注元なのか、推進協議会が主催となるのか。

事務局(知床財団)：羅臼町、斜里町を含む関係機関で構成される推進協議会が事業の実施主体となります。

林野庁： ガイド協議会には活動地域である国有林の生態系、利用制度など理解してほしい。来年度の取組みに是非国有林関係も含めて欲しい

事務局(知床財団)：来年度実施するガイド講習会などの題材として是非検討したい。その際は林野庁の方にもご協力いただきたい。

林野庁： ガイドラインの検討には、国有林の立場も反映したい。ワーキングの情報を頂くか、可能であれば協議にはできるだけ加わりたい。

事務局(知床財団)：ぜひご参加いただきたい。ワーキングの情報などお知らせするようにします。

林野庁： 北海道事業での環境学習プログラム検討のメンバーを教えてください

事務局（北海道）：当事業は 16 年度から 18 年度までの継続事業で、羅臼高校金沢先生を座長に、教育大学の久山先生、斜里高校の植木先生、野性サケ研究所の小宮山先生、知床ダイビング企画の関氏、岩尾別ユースホステルの関口氏、山岳ガイドの滝澤氏の 7 名に検討委員をお願いしている。最終的には環境教育のプログラム集のようなものを作り、多くの方に利用していただくものを目指している。

会長： 質問無ければ、次の議題のガイドラインに移りたい。

## 2) 知床エコツアーリズムガイドライン(案)について

会長： 今年度は世界遺産登録後の来訪者増加で、現場が大変混乱した。この現状認識を共有するために、ガイドラインの報告の前に、この夏の利用状況の報告、および環境省の行っている適正利用検討の報告を聞きたい。

事務局(知床財団)：当日配布資料「知床の世界自然遺産登録前後における観光利用の変化と課題」の説明。

環境省： 当日配布資料「知床港区立公園利用適正化検討会議について」  
「環境省からの立ち入り自粛申請～知床半島先端部の自然環境保全のために～」  
「知床半島中央部地区利用適正化基本計画」の具体化について」の説明

会長： 今ご報告いただいた適正利用検討に沿う形で、ガイドラインも策定することになる。それを踏まえた上で、ガイドラインの報告を聞いていただきたい。

事務局(知床財団)：資料 参照  
ガイドラインの位置付け、策定までのスケジュールと進捗状況、ガイドライン原案の内容、説明会において寄せられた意見について報告。

会長： 報告のように原案を作成中だが、運用していく中で、改良を加えていくものだと考えている。地域の状況、皆様のご意見を頂きながら現場に合せたものに仕上げていくものだという認識をお願いしたい。  
ご質問あればお願いしたい

林野庁： 生態系保全の観点からも、ガイドツアー利用の状況を把握し、いつどこに、どれくらいの人数が入っているといった情報を関係機関が共有するシステムが必要ではないか。登山届というものがあるが、随時回収されるものではないし、個人情報の問題もあるので機能していない。安全対策上も必要なので、検討してもらいたい。

有償ガイドが対象ということだが、マストツアーのガイドは対象としないという認識でよろしいか

ガイドは地元に住居が望ましいという記述については、ルールとするにはそぐわないのでは

ガイドによる自然環境の配慮説明については、地元の保全活動について、お客さんに協力を求めるという文章も必要ではないか。

安全上の問題について、ガイドの責任となるものと、顧客の自己責任による部分がある、それについての区分を述べるべきではないか。

野生動物との軋轢を避けるために飲食物を持ち込まない、という部分について、飲み物まで制限することは疑問に思う。

少人数のエコツアーの実現を目指すとのことだが、トータルとしての人数を抑えるのか、1ツアーの人数を抑えるということか

羅臼湖のガイドラインでは、道路は駐車禁止である、ということをもっと強調すべきでは。

羅臼湖については、長靴をはかないような顧客は立ち入らないような指導をお願いしたい。

カヌーのガイドラインについて、上陸を伴う際の注意事項があるが、環境省の「利用のお願い」については、上陸を認めている記述は無い。ここら辺の整合性はどうなっているのか。

無雪期に、ストックの先端にはキャップをつけるよう指導をお願いしたい

事務局（知床財団）：多岐にわたるご意見ありがとうございます。時間の関係ですべてをこの場でお答えすることはできませんが、何点かお応えしたい。

ガイドツアー利用状況の情報集約については必要と認識しているが、どの組織がどう行うかが問題となる。当事業が終了する18年度以降の体制も含めて、検討していきたい。

カヌーにおける上陸時のルールはあくまで原案であり、文章中にも記述があるように、参照として掲載し、具体的な検討は来年度行うものである。環境省の利用適正化検討会議において策定されるのが知床を訪れる人が必ず守るルールであり、このガイドラインは、それを踏まえた上でさらに、より理想像なあ

り方を述べるような関係にあると整理したい。

いろいろご意見いただいたのに、時間の関係ですべてに回答できず、大変申し訳ありません。今回頂いた点について、漏れが無いよう後日確認の上、今後のガイドラインワーキングで検討させていただきたいと思います。

ウタリ協会：来年度検討する項目に、先住民族による自然解説という項目を追加していただきたい。

会長： 新しい項目ということなので、検討させていただきたい。  
他、ご質問無ければ、次の議題に進みます。

### 3) 英文ホームページ

事務局(知床財団)：プロジェクターに実際に作成したホームページを表示し説明。

今後、ホテルやガイドツアー情報、イベントや各種環境保護活動などを入力し、充実させていきたいので、ご協力をお願いしたい。

英文での知床を全般的に紹介しているページはまだ無いので、アクセスはかなり見込まれる。

[http://www.shiretoko.or.jp/b\\_news/](http://www.shiretoko.or.jp/b_news/) のアドレスで参照できるので、ご意見を頂いた上で、3月中旬をめどに公開する予定。

会長： このホームページについても、19年度以降誰が運営していくのか、という問題がある。先ほどのガイドラインの運用など、19年度以降の体制については、これから話し合わなければならない大きな課題である。

### 4) 平成 18 年度事業計画

事務局(知床財団)：資料、資料 参照

環境省事業(案)、斜里・羅臼町事業(案)について説明。

事務局(北海道)：資料、資料 参照

北海道事業(案)について説明

会長： ご質問ご要望あればお願いします。  
次回の推進会議に向け、事務局の方で具体的な事業計画煮詰めていく予定です。



5) その他、次回予定など

事務局(知床財団)：貴重なご意見ありがとうございました。

今回見ていただいたガイドラインを叩き台に検討を進めていく。今後も説明会など設定していくので、どんどんご意見をいただいきたい。

英文ホームページも3月上旬に公開するので、ご要望あれば反映させていきたい。

次回18年度の第1回推進会議は5月の開催を予定している。

会長： 長い時間、ご審議いただき、大変ありがとうございます。

時間の都合で回答できなかった件は、別の形で回答させていただくので、ご了承いただきたい。本日はありがとうございました。

閉会



平成17年度 第2回知床エコツーリズム推進協議会出席者名簿 平成18年2月28日 斜里町産業会館

区分	構成団体・機関	会議出席者
構成団体	斜里町商工会	事務局長 菊地孝司
	知床斜里町観光協会	役員 喜来規幸
	知床温泉旅館協同組合	組合長 上野洋司
	知床民宿協会	桂田 正二
	斜里第一漁業協同組合	
	ウトロ漁業協同組合	専務 野田朝夫
	斜里町農業協同組合	
	斜里ハイヤー株式会社	
	道東観光開発株式会社	
	斜里バス株式会社	営業企画 菅原英人
	知床自然保護協会	
	斜里山岳会	会長 遠山和雄
	知床ガイド協議会	監査 鈴木謙一
	(社)北海道ウタリ協会斜里支部	支部長 梅沢征雄
	羅臼町商工会	
	羅臼町観光協会	会長 辻中義一
	羅臼町旅館組合	組合長 湊謙一
	羅臼漁業協同組合	指導部長 白浜修二
	羅臼遊漁船組合	事務局 石見公夫
	羅臼町酪農振興協議会	
阿寒バス株式会社		
羅臼ハイヤー株式会社		
羅臼山岳会	副会長 佐々木泰幹	
(社)北海道ウタリ協会羅臼支部		
協議会事務局	北海道本庁	主査 長谷川浩幸
	網走支庁	環境生活課長 須藤進・商工観光係長 安彦秀徳
	根室支庁	自然環境係長 東雅永
	羅臼町	環境課長 渡辺憲爾・環境課長補佐 野理幸文・自然保護係長 田澤道広・観光課長 木村幸治
	斜里町	自然保護係長 増田泰
	知床財団	事務局長 山中正実・普及事業係長 松田光輝・普及事業係 田中直樹・坂部皆子・寺山元
関係行政機関	環境省東北海道地区自然保護事務所	国立公園企画官 田辺仁・保全調整専門官 樋口悟一・自然保護官 中山直樹
	ウトロ自然保護官事務所	自然保護官 平井泰
	羅臼自然保護官事務所	自然保護官 安藤弘・岸秀蔵
	林野庁北海道森林管理局	自然遺産保全調整官 井上正
	根釧東部森林管理署	署長 星光憲・流域管理調整官 佐藤良克
	網走南部森林管理署	署長 飯島哲夫・流域管理調整官 高橋秀明
	知床森林センター	